

# CSR 行動計画 2020

	CSR重点テーマ	取り組みの内容	2020 年度目標
価値提供のCSR	環境 先進技術と市場をつなぎ、環境・エネルギー問題の解決に貢献します	環境調和製品・サービスを世界中で提供します ● インバータをはじめとした省エネエアコンの普及 ● 低温暖化冷媒を用いたエアコンの普及 ● ヒートポンプ暖房・給湯機の普及 ● 環境ソリューション事業の展開	● 環境調和製品のグローバルでの普及により、温室効果ガス排出抑制貢献量 <b>6,000</b> 万t-CO <sub>2</sub>
		生産活動などでの環境負荷を最小化します ● 温室効果ガス排出削減 ● 水・資源の有効活用 ● 化学物質の管理・削減 ● グリーン調達を推進	● グループ全体の開発・生産時温室効果ガス排出量 2005年度比 <b>70</b> %削減 (158万t-CO <sub>2</sub> に削減)
		世界中で地球を大切に思うグリーンハートの輪を広げます ● 従業員による事業内外での環境活動参画 ● 環境社会貢献活動の推進	● すべての生産拠点をグリーンハートファクトリーに認定 ● 世界7カ所で1,100万haの森林を保全 ● ステークホルダーと連携した環境活動の実施・拡大
	新価値創造 社内外の人々と夢や未来を共有し、空気の力で健康・快適な生活をつくります	お客様と社会の期待に応える新たな価値を創出します ● 地球に対する価値創造 ● 都市に対する価値創造 ● 人に対する価値創造	● IoT・AIを活用し、オープンイノベーションで新たな価値を創造する
	顧客満足 徹底したお客様志向と経験、実績、高い技術力で、安心と信頼を提供します	お客様に最高の満足を提供します ● 安全・品質の確保 ● お客様満足の追求	● 高い品質水準の確保 ● グローバル全地域を網羅するサービスネットワークの確立 ● 世界中の顧客ニーズの把握と満足度の追求
人材 個性・価値観を尊重し、個人の無限の可能性を引き出し、組織と社会の力とします	人を基軸におく経営で能力を発揮できる環境をつくります ● 人材育成 ● 多様性の確保 ● 労働安全衛生	● 卓越技能者および高度熟練技能者の割合 <b>4人に1人</b> ● 現地人社長比率を増やす ● 度数率(労働災害発生頻度を示す指数) <b>0</b>	
基盤的CSR	コーポレート・ガバナンス	経営課題と環境変化に対し、意思決定と実行のスピードアップと、透明性・健全性の高度化との両面を推進し、企業価値の向上を図ります	● 取締役会の独立性・多様性・透明性の確保(単体) ● コンプライアンスの徹底
	人権の尊重	各国・地域の法令などを踏まえ、人権に関するさまざまな国際規範を理解し、基本的人権を尊重します	● 人権尊重の徹底
	サプライチェーン・マネジメント	環境負荷、品質保証、労働安全衛生など、サプライチェーン全体で当社の社会的責任を捉えます	● CSR調達の実行
	ステークホルダー・エンゲージメント	広く社会と双方向のコミュニケーションを行い、社会の要請や期待に適切に対応しているか、私たちの活動を常に見直します	● ステークホルダーとの双方向の対話と経営への反映
	地域社会	各国・地域の文化・歴史を尊重しながら、地域社会の一員として、地域と強い絆をはぐくみます	● 「環境保全」「教育支援」「地域共生」への貢献

ダイキンは、「価値提供のCSR」4テーマと「基盤的CSR」5テーマについて、2020年度の目標を定めた「CSR行動計画2020」を策定し、グループ全体で取り組みました。その結果、ほぼすべてのテーマで目標を達成することができました。

定量指標	2020年度実績	指標の説明
●環境調和製品の普及による温室効果ガス排出抑制貢献量	●7,000万t-CO <sub>2</sub>	環境調和製品の普及によって、どのくらい温室効果ガス排出抑制に貢献できたかを測っています
●環境調和製品の販売台数比率 (住宅用エアコン)	●98%	インバータ技術や低温暖化冷媒を用いたエアコンの販売台数がどのくらい増えたのかを測っています
●開発・生産時温室効果ガス排出量削減比率(2005年度比)	●79%削減 (108万t-CO <sub>2</sub> に削減)	製品の生産工程などで発生する温室効果ガスをどのくらい削減できたかを測っています
●グリーンハートファクトリー認定数	●39拠点 (国内:7拠点 海外:32拠点)	環境活動に関する社内基準を満たした生産拠点がどのくらい増えたのかを測っています
●森林保全によるCO <sub>2</sub> 排出抑制貢献量	●700万t-CO <sub>2</sub>	NGOなどと協働した世界7カ所の森林保全によるCO <sub>2</sub> の排出抑制貢献量を測っています
●研究開発費	●717億円	価値創造のための投資額と、どのくらい新たな技術を生み出したかを測っています
●特許出願数	●国内出願:1,076件 (2019年度)(単体) ●外国出願:467件	
●お客様満足度(基準年を1.00とした場合)	●日本……………1.14 ●シンガポール…1.01 ●中国……………1.04 ●ベトナム……………1.17 ●インド……………1.15 ●オーストラリア…1.00 ●インドネシア…1.10	お客様のアフターサービス満足度が基準年と比べてどのくらい向上したかを測っています
●卓越技能者および高度熟練技能者の割合	●3.3人に1人 (単体)	生産に携わる従業員のうち、高い技能と知識を持ち、モノづくりを指導できる人材をどのくらい育成できたかを測っています
●現地人社長比率	●43% (海外グループ)	海外拠点における現地人社長登用の進捗を測っています
●度数率	●1.01	生産拠点が安全に操業できているかを測っています
●社外、女性、外国人取締役数	●社外4人、女性1人、外国人1人 (単体)	取締役メンバーの多様性を測っています
●自己点検実施率	●99%	自己点検の実施率により、コンプライアンスの遵守状況を測っています
●自己点検実施率	●99%	自己点検の実施率により、「人権の尊重」の徹底状況を測っています
●CSR調達実施率	●99%	全調達額に占める、社内基準を満たした取引先様の割合を測っています
●空調懇話会の開催回数、外部出席者数	●世界各地で計8回オンラインにて開催し、大学教授・専門家などのべ22カ国90人が参加	エンゲージメントのなかでも特に事業の根幹である空調にかかわる、世界の有識者との対話の回数・人数です
●社会貢献活動費	●13億円	地域社会への寄付や物品の支援額を算出しています